

模試について



家族構成によって、人それぞれ。

# 発災時 の備え



全6問 | 解答目安 約7分

スタート



＼防災リーダーのランクを上げよう！／

逃げる  
ための備え

住まい  
の備え

発災時  
の備え



主催：東京都総務局総合防災部

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

# Q1

災害に備えて水・食料・日用品を備蓄することは重要ですが、備蓄品の準備は誰が主体になるべきでしょうか。正しいものはどれでしょうか。

正解は1です

## 備蓄品は個人が準備、「自助」が主体

個人が使用する備蓄品の準備は、個人で行うべき対策です。ご近所で助け合いをする共助や、行政による支援となる公助も重要ですが、まずは個人で行う自助により、最低限の備えを行うことが前提となります。



主催：東京都総務局総合防災部

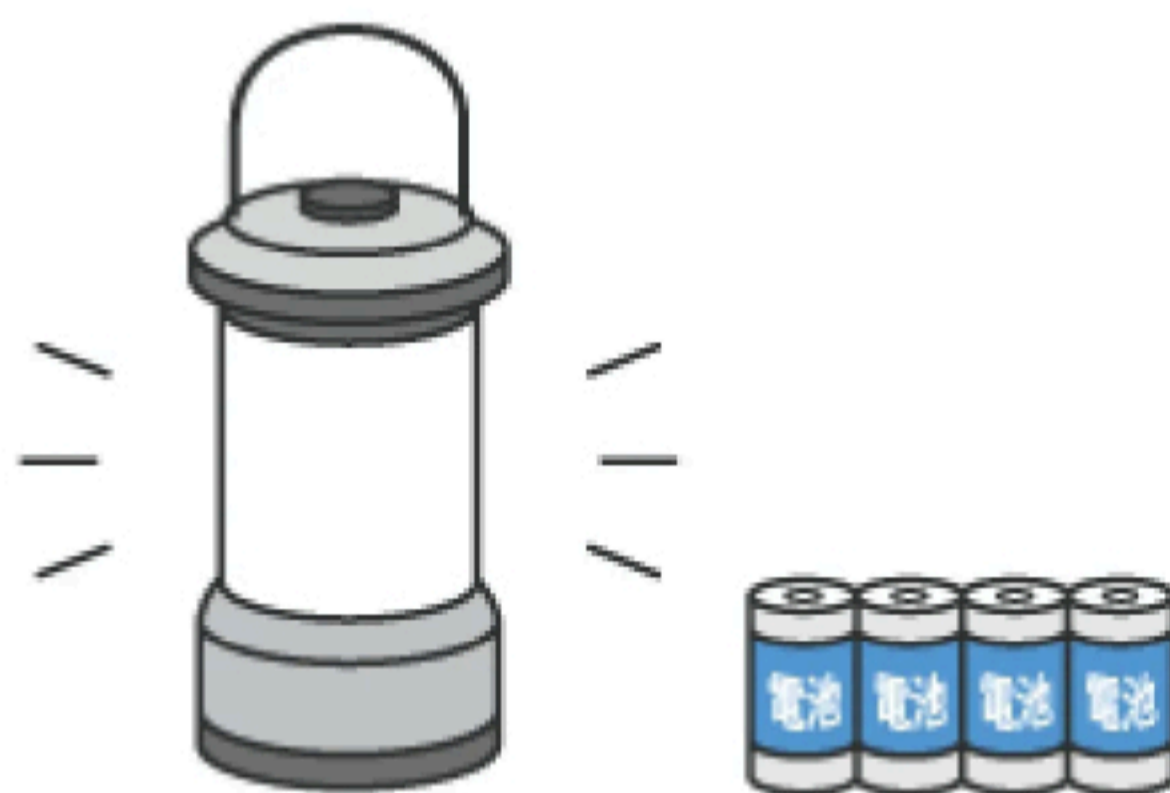
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1



**Q2** 災害で停電した際の照明器具として最も適しているものは、次のうちどれでしょうか。

**正解は3です**

**LEDライトを使うのがよいので、予備の電池とあわせて準備する**



災害時の照明には、明るく、安全で、長持ちする、「LEDライト」が最適です。このほか、ライトやランタン、予備の電池を準備しましょう。ロウソクとマッチ・ライターは明るさが足りず、また火災の原因になるため、現在の防災ではおすすりめできません。もちろんたき火は絶対に行わないでください。



## Q3

災害による断水に備えて、非常時のトイレ対策を行うことが重要です。トイレを準備する場合の対応について、正しい行動はどれでしょうか。

### 正解は3です

排水ができなくなる恐れがあるため、非常用トイレを用意するのがよい



断水が生じると避難所のトイレも使えなくなるため、個人の備えが必要です。水をためておくことも対策のひとつですが、排水管が損傷したり、水害で下水が満水になると、トイレの水を流すことができなくなる場合があります。

例えば、マンションなどでは、大地震の後に排水管の損傷がないか確認が取れるまでは排水ができず、水道が無事でもトイレを使えない状況があり得ます。戸建ての場合は水を流してみても問題がなければトイレを使用できますが、断水すれば当然ながら水は流れません。あらゆる家庭において、非常用トイレを準備することが重要です。

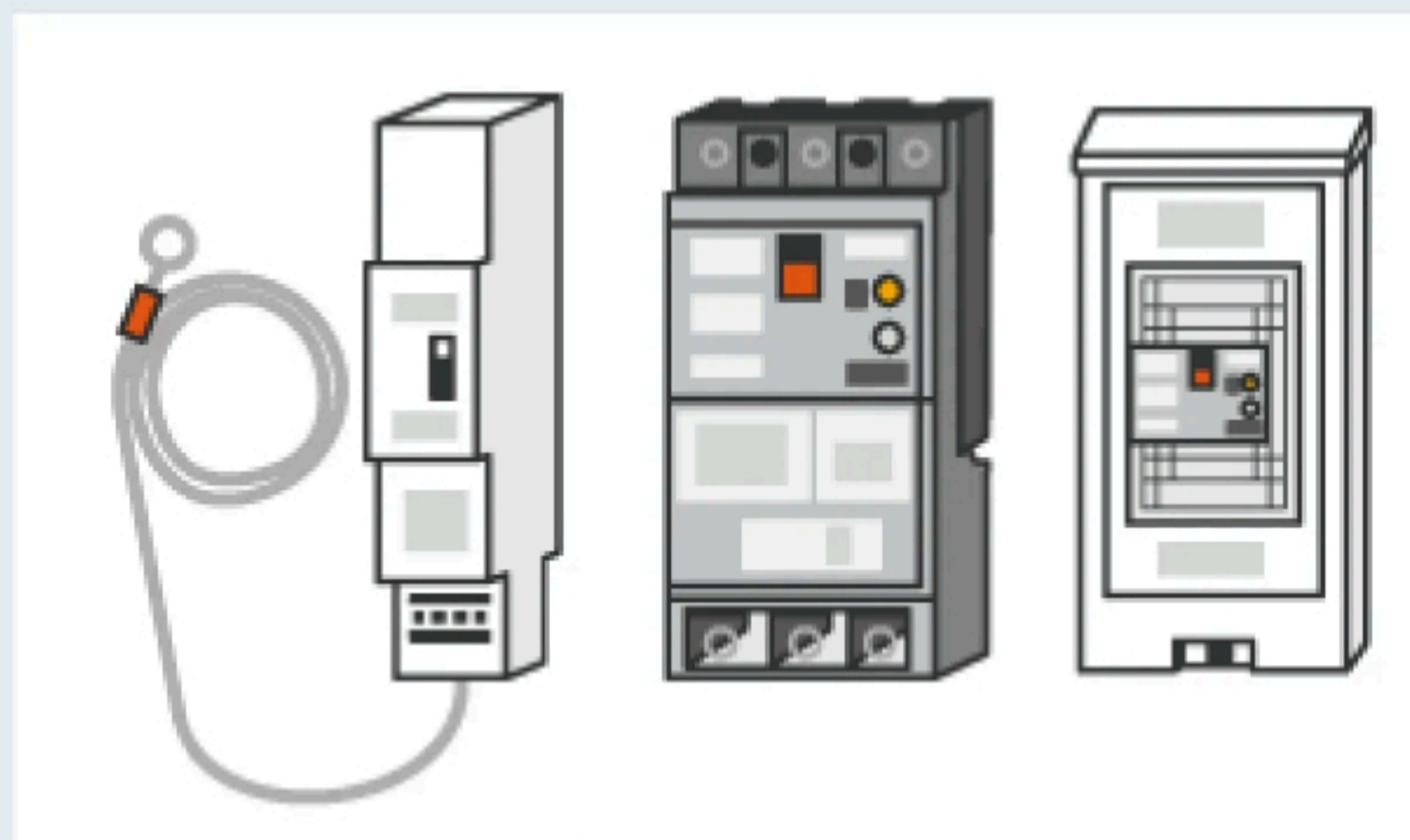


**Q4** 地震の揺れで可燃物が電気製品に落下し出火したり、停電し電気が復旧した際、損傷した電気コードから出火することがあります。これら地震による火災に備えて設置するとよいアイテムはどれでしょうか。

正解は2です

### 感震ブレーカー

「感震ブレーカー」は、地震の強い揺れを感知して、電気を自動的に遮断する機器です。地震により生じる「電気火災」を防止する効果があります。



感震ブレーカーには様々なタイプがあります。夜間の停電に備えて照明器具を常備したり、常に通電していないといけない医療用機器等を使用している場合はバッテリー等を備えるなど、状況に合わせて適切に設置しましょう。

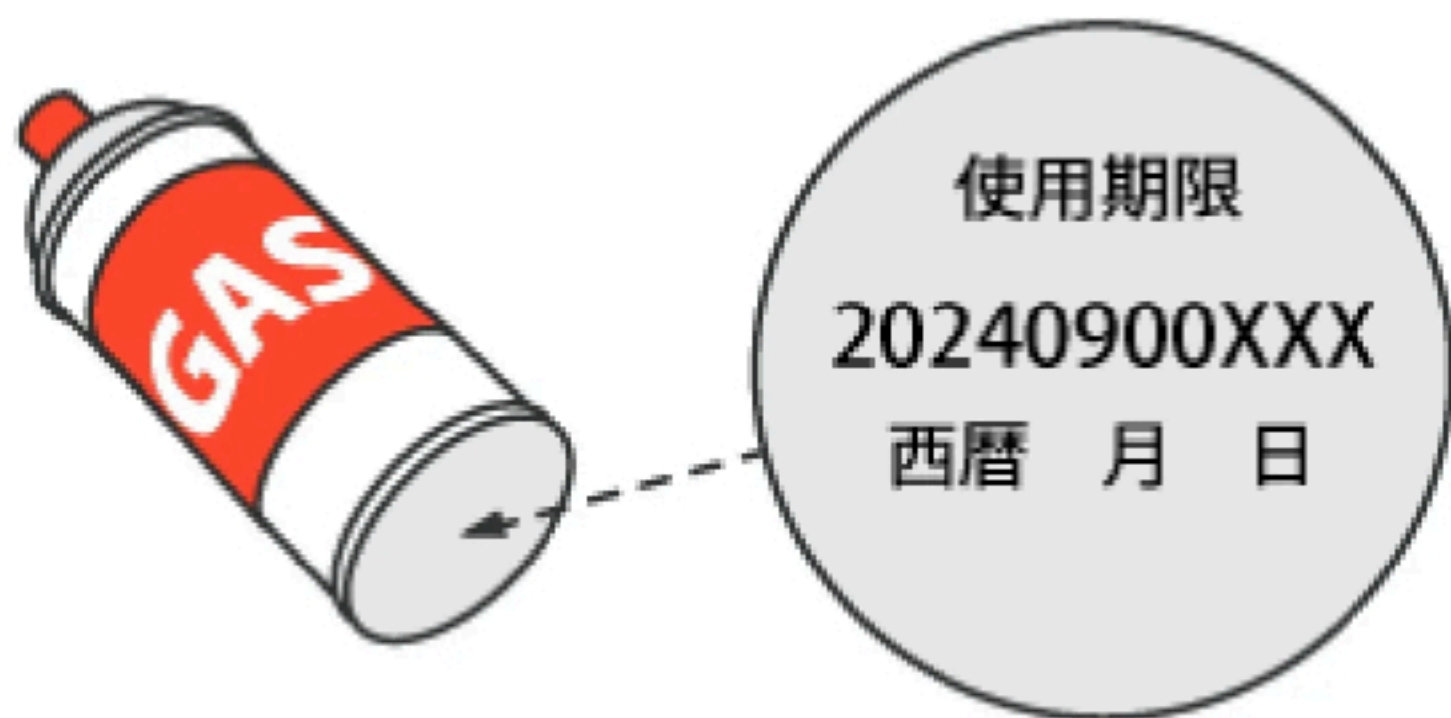
## Q5

災害による停電などに備えて、カセットガスコンロを準備すると役立ちます。燃料となるカセットガスボンベの扱いについて、正しいものはどれでしょうか。

### 正解は2です

**ガスボンベにはメーカー共通の使用期限があり、定期的に入れ替える必要がある**

カセットガスボンベは7年、ガスコンロやガスストーブなどの器具は10年が寿命です。見た目には問題がなくとも、ゴムパッキンなど表から見えない部分が劣化しますので、ボンベは期限前に使い切り、器具は期限で交換するようにしましょう。





**Q6** 災害から生活を再建させるための公的支援制度について正しい説明はどれでしょうか。

**正解は3です**

**被災者生活再建支援金は一定の建物被害を受けた方に支給され、災害弔慰金は災害による遺族を対象に支給される**

災害義援金は募金や寄付金が原資となるため、支給される金額や対象は災害により異なります。災害弔慰金は遺族にのみ支給されるお金です。この他、建物に被害を受けた方に対する被災者生活再建支援金などがあります。支援を受ける際は、り災証明書を取得しておくことが必要です。



**被災者生活再建支援金**



**災害弔慰金**